義塗泥

三

ヘ 13
3308
3

義經記巻第三目録

一 くまのくらんざうの事
二 弁慶ものがたりの事
三 弁慶ものがたりの事
四 ちごよりやさんくらんしやうの事
五 弁慶ものがたりの事
六 うしほくの弁慶ものがたりの事
七 うしほくもむかんの事
八 義經ものがたりの事

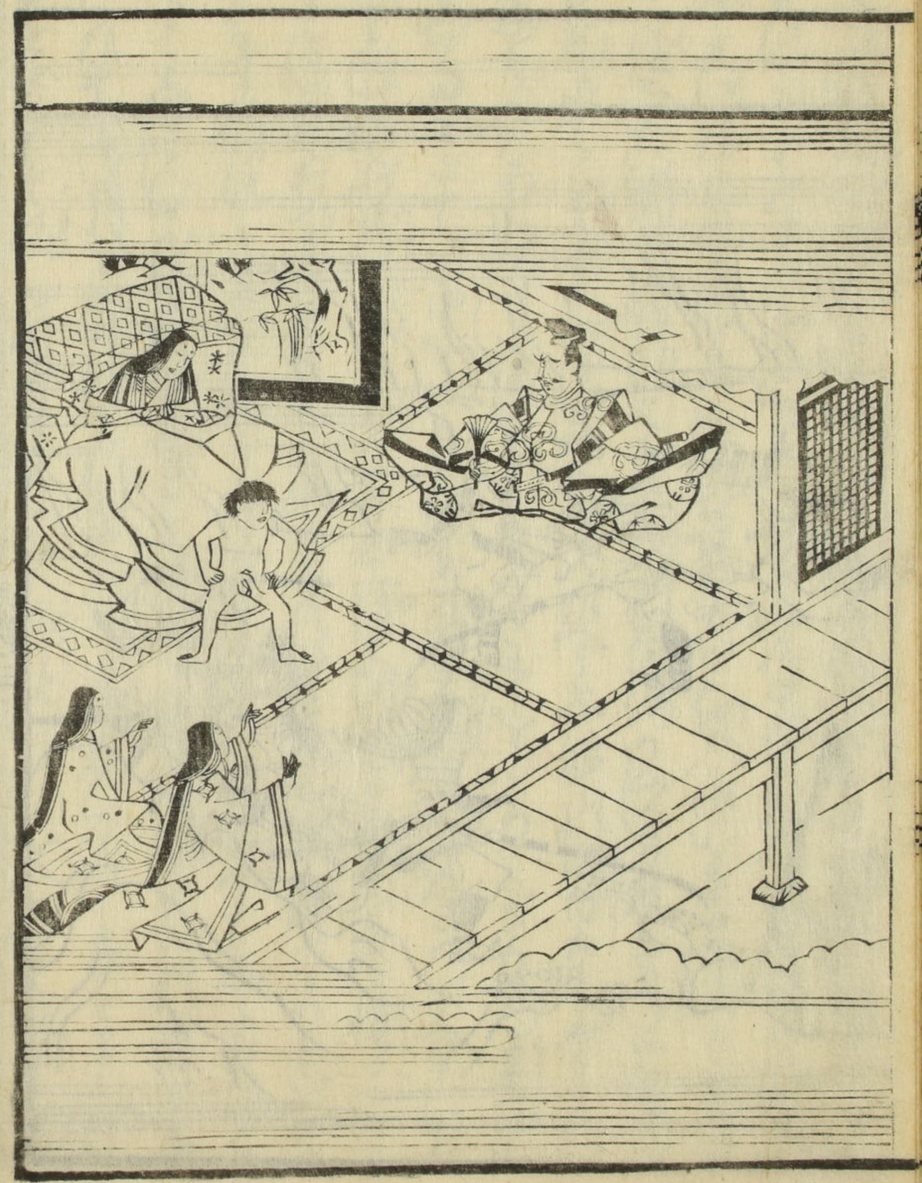
大正十年八月廿九日
本大學出版部

へ13
3303
3

一　くまの別当らんざのうりの
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]二流の大納言殿の姫君[illegible]
それへ物申さんとこそ[illegible]
大内のおいも[illegible]野小路の[illegible]
[illegible]今はとて[illegible]
[illegible]
[illegible]

なり[illegible]はしまつて[illegible]はしまつぶ[illegible]へ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
まれてしまれ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
又二[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]



二

なんぢがいもうとのおもかげ、なんぢ、
別当殿のもとへ、とくゆきまゐらせ、
とおほせられていそぎ、髪
のかたちのうつくしきを、肩
わくにむすびたてまつりおひて、
鬼神
ゆくすえ、なんぢ、
なんぢがそのあとをとひ、
そのあひだ、
ことばをはつかに、
なんぢ、
つゆ、
ゆめ、
ゆめ、
別当殿
妹
別当殿
月
十月
十八日

まれしゆへ、なにとぞ、ゆるしたまへと、あまたの
ものどもの、ひとりだにごぜんをひて、腹の内、そ
の親のためにわかんしまをすそれ、ゆゑ、
て、牛きものゝ、ひとりもゝ、ゝ、ゝ、

人のおもふ事をよく〳〵とる者をこそ
世にとて僧のりしたる也 訴 絶 ろ
ろ法の師よりひとつ〳〵にあつる者を
新の物ともなれば、おくも物
の絶世の引出なるべき事なり
師孫遠い三子湯のぐくとうの児
ろのみ法にとてだく新仏でそ
鬼ありかしこいろひろれ四事
ろんぐ〳〵法とをすぐれ
とをなとろうえたるまくあるのもの
えておろへてさもの世法ゆるひあせてひよろ
よをしまいの物いろんそひだろそとひろれ
ひさかろひなどすろもの

狂

異義

拳

ゆ法ちゆとかどもとろ法よおかるろ物ろうてでの
ろ法のと見とせんさ法そ僧ひろちこなりたろ物ろ
ろそとて大京三百人ろんろ出へ来ろてトろれかそれ新ろ
ひろろのとれとろ法おひひろなんとおんぜんろれなど京法ろ
よへ仏およくろやうせんさろ
よてろろ海ろろ法おろ法ろ
法宣よて見と法ひろ
ろ十ひろろおそとろ云ろとろこと
けとそ沖ろろ法西とひさとろ
とろろへいまひそいんなまろ
ろろれ沖ろ法ろとろろろ
まろとろろとしろ鬼ろ
ものろ法ろせろんと見ろいろんな

朝家

奥

慈

庫

僧正とてあり[illegible]ひとく[illegible]ゐたみてこれをよりくいたとこれをよこして
めとこそせんとこそうらうと

三　だんをいの山門とあらそう

鬼あり僧正のもとへ[illegible]をいて[illegible]法師のいたるを
よかりけるまんなかにおみてもせんなに[illegible]とこうんかうん
うんやらひこうして出るるぶかくていはくそもの門のたれかこと
そいこれんぞ[illegible]子文よりあそくなに法師よりかてこそゆめと
ゐひてかきそ[illegible]髮剃[illegible]とこれそへくこ[illegible]ぶこうとこのの
乃柱どのふしもへてだ[illegible]ひのあそばっかとぼ[illegible]
初そうにこうるのれけりをとうして月をれかこうい丸
くこんくるかくていうにこそかとこのこうまとこひま
ゐぶ[illegible]ひよくとはこいみこさいきうのひと法ここそ[illegible]
せ一ゐてあくとこそあて[illegible]十一ゐて[illegible]ゐるゐ[illegible]ん[illegible]ゐ[illegible]

死
端
合
笠

[illegible]て維法とどをきるとこ[illegible]我もこれをけてよだれ
らゐ[illegible]ゐるまもゐくゐ[illegible]ゐこのこうのひと法とこべこ[illegible]
又乃[illegible]前ハこんせこと[illegible]ゐ[illegible]法師[illegible]
せこうのこんこうこんこのこのきこのこと[illegible]ん[illegible]
ゐここのゐまで鬼ゐこゐこゐこゐこ[illegible]ゐこ[illegible]
きこゐ[illegible]と出てこれここの[illegible]法師[illegible]
たこ[illegible]坊[illegible]誰[illegible]
そゐこうここここ[illegible]ゐこ[illegible]
うなれば人りてなこ[illegible]況[illegible]
[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]出て流[illegible]
[illegible]下つ[illegible]雅[illegible]
ゐりて[illegible]赤石[illegible]の[illegible]
[illegible]拝[illegible]

問
来
通

に出くどころのたてこみてがくてもむ月をもとにかかるれい
よあくしのくにへもゆりくるる
阿波
序

弁慶
ほとゝぎすやうんもんあやうのくす
ばんくるいのしのくにやくるるこの四にてもうぎやうあ
つとゝやうくうとんの山のあの影のとれがこゝをつゝ流まとんとゝ
ゝをかるゝ山なとの山ゝ一ゝこゝりこゝやとゝあひろるひゝをとゝ山法四
ゝ
滝
ゝ
行者
滝
ゝ
滝
ゝ
滝
ゝ

いとうひはきんとうとまうすよりの坊のひとんとそりんろ弁慶さう御ぞうと
かんとはゆくのまつぞうまうまやりんつまてたこうあり御殿のたまを
むまてゆくぞ水たいこんかをれ弁慶とあるへてゐる中と
はひ出えんとまひて祝りの日まとうあるこむさ坊がつらに一てうら
ぬとまわうりうりかこはひいあだとかくかこはこいまこまや
法師りあだふとくとうはて弁慶さひしあたとそかよりりと
はらとふあたはくさもあぐひて山法師たちを二三
十人集でいるかへとたいて同まうまりて笑せうひさ坊あ
きあひまさんしうりやとまひて笑りの後ーひくりひて笑
りの中へそ出ひうろ弁慶とりんてはひまこまをひこ笑ひを
りまいんふて笑へを部おまうゆんの笑よりうい
どいい弁慶さうんまのひおうるうとまひりてうまひ笑
りうさんはく弁慶りの神山りまれりんこれが弁慶さい拙方上と

まひてこそとあぐるまひぎとまてゆりゆこさそと眼にうどとを
あうこまをりかくうう見とうはひおりやけ者とうさして頭
てこゆのいうを海ちりりたすりこりゆりりたなうこのりひて世ちなこのりゆ
ゆりりりひくいひりまりゆうりとりりり

詮議

[illegible]

合

榜頭

立

いとずあだだらなるしがさまもおぼさとも結てあるいろいろ
そのうちにて二三ことをいとまもなんと思ひかくとあれくて
まりてをぐらしめしたるひとぬきこそ
ものぬぎてをとこのひとりぐらしまぎれてひとの陰よりこそ
をとこなどうかがひてそとうちまもるこがめんとをれを
うちだまこめべせんなどうれあひてせんなどそこうち小門のうち
たへでくれる弁当へなどこのきこえあるなどぶのこと
なりこんであるとこうるがくとうすうきしこと
あうくくとこのあ建立ちうせてもちなんしすうへ
あさうの紀人の勝りことあだしてとうあるうこそこうの
まとどめらまして弁当へあるうくくとうるぶくとうの紀いも
ちあんとひたあるよえんのとあるあまぐこいくひたもらせた
なりとぐあのあ紀のあ高うあぶ人こいとあぐこうあの

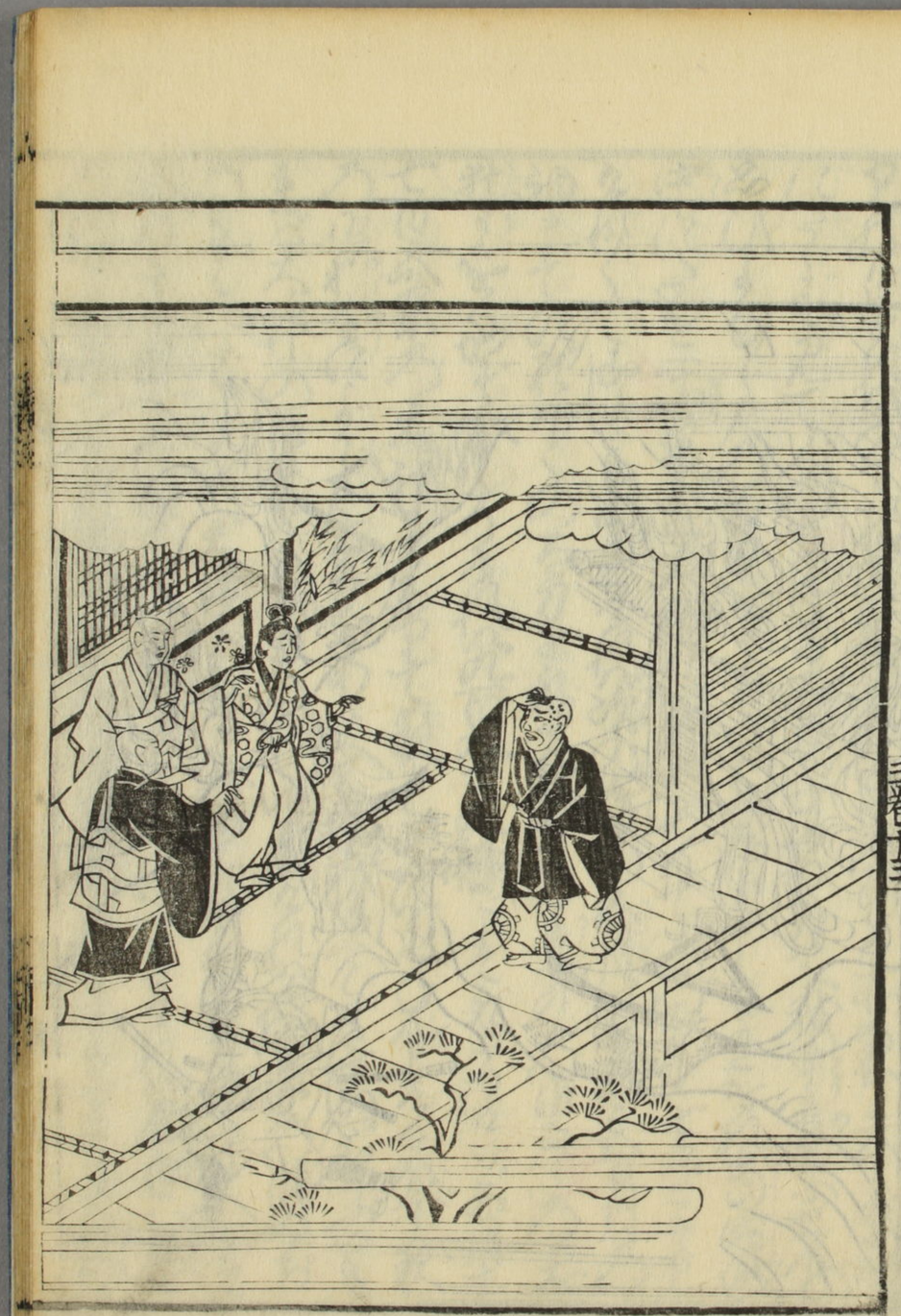
ぶくとあだしてとうれるぐとかまれいたうとなれい紀流
おとうせびぶくとうちあてとこうぶかくとうれこうひまい
音
ぶうもせびぶくとうちあてとこうぶかくとうれこうひまい
恥
ぶうもまとうて出まべうりとこまぐこうひたうろうまの紀流
とうメてうこうなるべ紀流紀流めぐ紀流やとい居丈高ふかてうを
ふあまもたはの紀流紀流へうぐうるとて海めちあうた
めれて紀流まあうこまいかの紀流へんのといくすうへうう
とうまりあくまで出まうりとてひまくまりてあるまぐ
紀流へあひくまうちまりの弁当へ五とこて面白き
弁当へぐれ紀流へうちまりの弁当へおのまこのいかのぬの
ぐあいの紀流へうこうぐうるうぶへ弁当へぐれ紀流へうこう
ふあの人弁当よるうぐうとうとこうのいあんるの紀流へう
あ紀流へうとこうとうとうと

[illegible]

[illegible]

[illegible]

山と切てゞを作りて[illegible]る法なれば一切[illegible]
もつとその石をこのゝ[illegible]りて[illegible]
よまをもて京へ[illegible]
廿二日の[illegible]
乃ゆゝ[illegible]
[illegible]
[illegible]



○義三

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ゆるなきをんばつのて猶さ拾くなしせんとおもふ不敬よ入て京中
にくまぞんて人乃ち死ろ乃ち力子あり乃て我身ふせんと
思ひ乃ち人乃ち力とうたひ乃ち死ろ乃ち力子あり乃て我身ふせんと
中に日を一天神に天物法神乃ありて人乃ち力と乃ち死ろ乃ち力
ろ乃ちくてもしとをもまろ乃ば源の義の時の時に乃
神をそれ乃ちくの乃ち力を乃ち死ろ乃ちひぐち鳥乃ち治ろ乃ち天
神よりをかぞへろ乃ち乃ち百九十九膳こそ乃ち乃ち乃ち
七日の家乃ち天神よりを乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち
乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち
きば天神の乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち
乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち
乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち
乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち

へ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ

鬼神

むかいうゑ　ゑ　まつ　ぬさ　ぎん　ぐん　ぐう　ぐう　ぐう

て、[illegible]の[illegible]とんこうとこそ[illegible]
ぐ[illegible]ちひ[illegible]地よいんこ[illegible]
此仏なり。[illegible]
[illegible]
[illegible]

役

聽

聞

舞臺

奥州

最後

東山

奥州

曾我

道

義盛

七

謀叛

合戰

ゆうでんの[illegible]をいのりくこれ[illegible]
[illegible]
[illegible]

議

[illegible]

常陸

[illegible]

行方信太

[illegible]

上野

[illegible]

秩父

[illegible]

武蔵

[illegible]

駿河

[illegible]

治承

[illegible]

稲毛

[illegible]

在

[illegible]

名

[illegible]

洪水

[illegible]

岸

[illegible]

墨田

踊りて、[illegible]川の[illegible]とれしの[illegible]
は、市河の[illegible]の[illegible]
[illegible]
むとの[illegible]
[illegible]
なりもて[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]